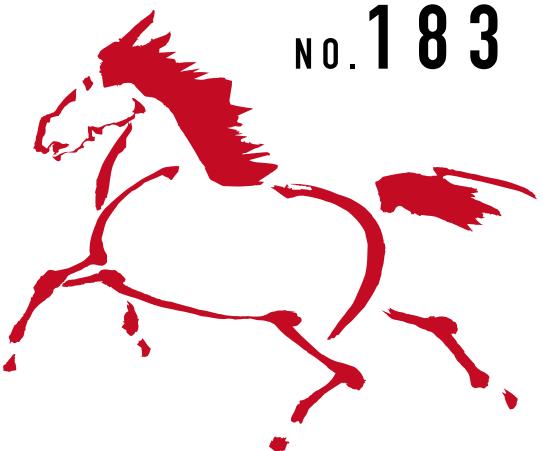


# みはる ぎかい

2026/2  
NO.183



特集 P.2-4  
意見交換会

P.5 請願と陳情  
P.7 まちの“ギモン”を直撃  
P.16 みはるのキラ人

# 特集 意見交換会

三春町議会では、町民の多くの意見を町政に反映させるべく各種団体を中心に意見交換会を行っています。今回は、令和7年12月までに意見交換が行われた3団体を特集として取り上げます。

2025年12月12日開催

## 三春町認定農業者協議会

### テーマ 三春町の農業振興について

「三春町における新たな振興作物について」、「振興作物を広めていくうえで、町が行う農業支援策について」の2点を中心に意見交換をしました。  
(12月9日に行われた三春町農業研修会に議員も出席し意見交換会に臨みました)

#### 意見交換会の内容

- ・6次化の推進による付加価値向上と販路拡大のため、加工施設の町内設置と既存設備の更新を望む。
- ・農業機械設備の共同利用実現のため、町による支援体制の強化を望む。
- ・後継者育成には、法人化の促進や外部からの若手人材受け入れなど、就農環境整備が必要。
- ・遊休農地を増やさない維持管理体制づくり、基盤整備、排水施設の更新などの継続的実施が必要。
- ・町や議会が連携して、現場の声を反映した支援策を進めることが必要。



#### まとめ

三春町の農業は、担い手不足や高齢化、荒廃農地などいくつかの課題を抱えています。これから農業を支えていくためには、農家一人ひとりの努力だけでなく、法人化や地域全体で支える仕組みづくりが大切です。

今回の意見交換会でいただいた声をふまえ、議会としても関係する皆さまと連携しながら、具体的な取り組みについて検討を進めています。

#### 代表者の感想

これまでさまざまな会議の場で課題を提起してきましたが、その声が十分にフィードバックされず、実現につながっていないと感じています。特にお願いしたいのは、農業に関する予算の確保です。補助金制度がないわけではありませんが、現場から見ると十分とは言えず、担い手の負担が重く、限界に近い状況にあります。また、将来の担い手を育てるための受け入れ体制も整っていないのが現状です。後継者づくりを進めるためにも、こうした体制整備に必要な予算をぜひ確保していただきたいと思います。

影山忠夫会長



2025年11月14日開催

## 三春町住宅研究会

### テーマ 岩江地区の除染仮置き場跡地利用について

岩江地区の要望に基づき、現在三春町住宅研究会では、各社で案を作成しプロポーザルを行うなど跡地利用について考えています。今回は住宅研究会で作成した案について意見交換をしました。

#### 意見交換会の内容

##### 住宅研究会

- ・子どもたちが遊べる空間や岩江地区の自然を活かした複合施設など、地域の中心になる計画が望ましい。
- ・三春町内外から人が集まるようなお店や施設、こどもクリニックなどの医療施設があるとよい。
- ・舞木駅や岩江小学校、こども園などの施設との動線を考えた設計が重要。

##### 議会

- ・住宅、商業施設、屋内遊び場、医療施設の複合整備が若い世代を呼び込むために必要。
- ・宅地整備が最優先。住宅研究会との意見交換は有意義。
- ・河川が増水した時の治水対策が必要。管理道路を確保して郡山方面に抜けられるようにするべき。



#### まとめ

将来に向けた土地の有効活用について、県の河川改修終了後速やかに事業が進むよう、早い段階から検討していく必要性が確認されました。

#### 代表者の感想

議員さんからたくさんお話を伺いました、具体的にこういう提案をしたほうが良いのかと大変参考になりました。多様な意見を出すことが今回の目的でしたので、まちづくりのためにいろいろな提案をしていきたいと思います。

影山吉則会長



# ＼私たちの権利／

せいがん  
請願

と  
ちんじょう  
陳情

国や地方公共団体などに意見や要望を文書で伝える「請願」と「陳情」について解説します。

## 請願ってなに？

憲法で保障された国民の権利。町議会に対する請願は町議会議員の紹介を通じて議会で審査を行います。

## 陳情ってなに？

法的な保障はありませんが住民が議会に直接提出できる要求で、議会で審査を行います。

### 住民

紹介議員

請願書の提出

陳情書の提出（持参）

陳情書の提出（郵送）

※三春町では郵送の場合、議員への配布のみとなります。

### 議長（受理）

本会議 委員会へ付託

委員会 審査（採択・不採択・継続審査）

本会議 採決（採択・不採択・継続審査）

採択 国等へ意見書提出 請願者 審議結果通知

#### ※ここがポイント

議員は審査時に意見が分かれた場合、少數意見を留保する意思表示をすることで、本会議の時に討論することができます。



委員会審査のようす

### 定例会12月会議で提出された陳情（全件採択）

陳情第7号 最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書の提出について

提出者 郡山地方労働組合総連合

内容 最低賃金の大幅引上げにより、中小企業・小規模事業者の経営環境が一層厳しくなることから、賃上げを進めやすい環境整備のため、国による支援策の抜本的な拡充を求めるもの。

陳情第8号 院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書の提出について

提出者 郡山地方労働組合総連合

内容 物価高騰の中、医療・介護・福祉・保育分野で働くケア労働者の低賃金や人手不足が深刻化していることから、事業継続と待遇改善を目的に、診療報酬や介護報酬など公定価格の引上げを国に求めるもの。

陳情第9号 物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について

提出者 全日本年金者組合福島県本部

内容 物価上昇に年金額が追いつかず、年金生活者の暮らししが厳しさを増している現状を踏まえ、実質的な年金削減を是正し、物価上昇に見合った年金額の引上げを国に求めるもの。

陳情第10号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書

提出者 福島県保育連絡会

内容 保育士不足が深刻化する中、職員の待遇改善と安定的な保育体制を確保するため、保育所等に適用されている社会福祉施設職員等退職手当共済制度への公費助成を、今後も継続するよう国に求めるもの。

陳情第11号 保育士配置基準の引き上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書

提出者 福島県保育連絡会

内容 保育現場の負担増や事故防止の観点から、子どもの安全と質の高い保育を確保するため、保育士配置基準の引上げを早期に完全実施とともに、さらなる基準改善を国に求めるもの。

2025年12月16日開催

### 一般社団法人田村青年会議所

#### テーマ 磐越東線の利活用について

～利用者目線と政策提言の両方から考えよう～

今までの開催でも初めての手法「ワークショップ形式※」で意見交換会を行いました。

※ワークショップ…参加者が主体となり体験や議論を通じて、知識やスキルを深めたり、新たなアイデアを生み出したりする学習・交流の場のこと。グループで課題に取り組んだり、意見を出し合ったりする参加型・体験型のアプローチ手法。

#### 意見交換会の内容

田村青年会議所からは玄葉俊行理事長をはじめ5人の皆さま、三春町議会からは影山初吉議長をはじめ8名の議員が出席しました。

事務局が進行役となり、第1部で現状の課題を抽出、第2部では課題解決のアイデアについて、議会としてできること、青年会議所としてできること、連携して取り組むべきことについて話し合いました。

##### ●ワークショップで出た主な意見

磐越東線をめぐる主な課題
列車の本数が少なく、通学・通勤や夜間の利用がしにくい
バスなど二次交通との接続が悪く、駅からの移動が不便
駅や周辺が「古い」「暗い」など、利用時に不安感がある
運賃が割高に感じられるため、車移動が選ばれやすい
利用方法や沿線の魅力に関する情報発信が不足している
利用促進に向けたアイデア
通学・通勤の時間帯に合わせたダイヤを試してみてはどうか
駅から先の移動が楽になれば、列車を選ぶ人は増えると思う
駅前に少し立ち寄れる場所があるだけでも印象は変わる
学生やイベント利用者向けの割引があれば、気軽に使いやすい
列車で行くイベントなど、使い方が見える企画があれば乗るきっかけになる



読者のみなさん、磐越東線の利用促進に向けたアイデアはありませんか？

#### 代表者の感想

今回の意見交換会を通じて、青年会議所が現場で感じている課題と、議員の皆さまがとらえている課題とに、大きな違いがないことを実感しました。解決に向けた方向性も重なる部分が多く、私たちが行動を起こしてきたことへの確かな手応えを得る機会となりました。若い世代が主体的に動き、議会の皆さんと意見を交わしながら地域課題に向き合っていくことで、三春町の未来は必ず切り拓いていくこと強く感じています。

玄葉俊行理事長



#### ※町民と議会との意見交換会について

●趣旨 議会政策機能の立案強化、町の地域振興及び住民の福祉向上につなげることを目的としています。

●期間 通年で開催しています。

●対象団体 5名以上の参加が見込まれる、町民参加団体。

●テーマ グループ、団体などの活動に沿ったテーマ

その他の詳細については三春町議会事務局（電話 0247-62-8124）までお問い合わせください。

# まちの“ギモン”を直撃！

12月2日(火) 定例会 12月会議で11名の議員が一般質問に登壇

※一般質問…議員が町に対し町政全般の幅広いテーマについて、政策の執行状況や将来の方針などについて質問します。

「空き家・空き店舗」	石井一正議員	影山孝男議員	影山常光議員	「モンベル効果」	「防犯カメラ」	「ふくしまDCの取組み」
「公共交通」	鈴木利一議員	……	……	「町外への移動支援」	「ごみの減量」	……
「小さな拠点づくり」	三瓶一壽議員	……	遠藤亮子議員	「古いライフラインは」	山崎ふじ子議員	P10
「北部の農業振興策」	橋本善一郎議員	……	篠崎聰議員	大内広信議員	松村妙子議員	P10
「小学生遊具の環境整備」	……	……	……	……	……	P9
「古いライフラインは」	……	……	……	……	……	P9
「ごみの減量」	……	……	……	……	……	P11
「防犯カメラ」	……	……	……	……	……	P11
「ふくしまDCの取組み」	……	……	……	……	……	P11

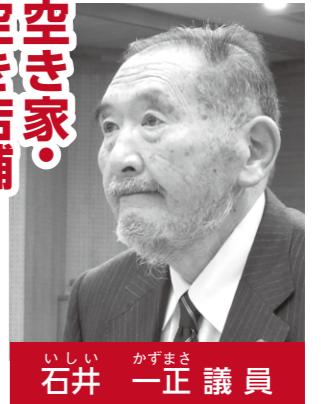
※内容をダイジェスト版でお知らせします。

各ページ2次元コードから一般質問録画映像をご覧いただけます。

次回の一般質問は 3月3日(火)午前10時 予定です。  
手話通訳者が一般質問を通訳します。

公開します 定例会12月会議 審査議案と議員の賛否

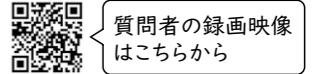
\*佐藤弘議員は体調不良により欠席



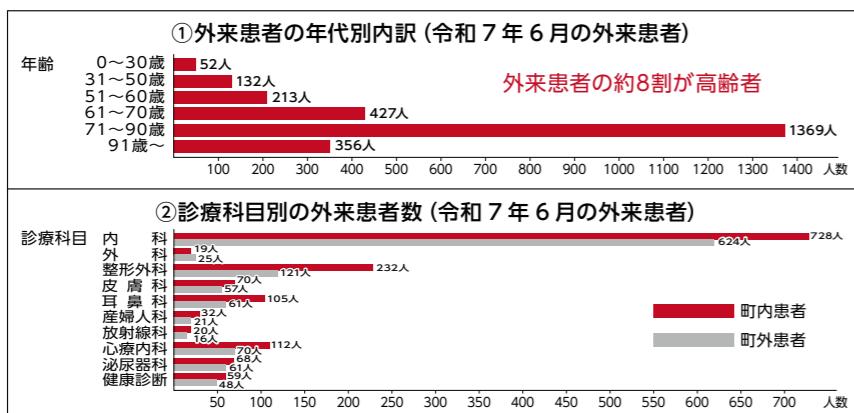
## 空き店舗

**石井** 全国的に空き家・空き店舗が増加して社会問題化している。9月の一般質問で「中心市街地160件に対して掘り起こしに今後力を入れる」との答弁だが、商工会や地域住民に対する情報提供はどのようにしているのか。

須賀川市は、郡山市や県内外の5企業と組んでプロジェクトを始動させた。市内大町の空き家で再利用できる見込みがあるガラスや家具、金属部材などを調査し、発生する廃材や家具などを再利用することで費用の一助とする仕組みづくりを行っている。



**A** 町ホームページでの情報発信を見直していく  
**Q** 地域住民への情報提供は



患者の内訳(令和7年10月28日住民説明会資料より)

## 町外への移動支援



えんどう りょうこ 議員

**A** 関係機関等と協議していく  
**Q** 星総合病院への移動支援は

町のホームページ等で空き家バンクや空き店舗情報を提供を行っている。今後は情報管理や情報発信の在り方を見直し、適切な情報提供に努める。また、中心市街地に空き店舗が増えて

## ■小売店舗の家賃補助 (中心市街地)

対象事業	補助率			限度額
	1年目	2年目	3年目	
新規創業者	10/12以内	7/12以内	4/12以内	年間300万円まで (月額25万円まで)
新規創業者以外	8/12以内	6/12以内	4/12以内	年間240万円まで (月額20万円まで)

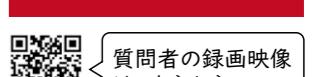
## ■小売店舗の家賃補助 (郊外)

補助率	1年目	2年目	3年目
	8/12以内	6/12以内	4/12以内
限度額	年120万円 (月10万円)		

三春町賑わい創出事業



## モンベル効果



**A** 大学・企業と協議しながら今年度中に検証を進める

**Q** 経済波及効果の検証は

**企画政策課長** モンベル誘致をきっかけに、町活性化に向けた取り組みを確認する。総事業費18億円、町の実質負担額は約7億8千800万円を見込んでいる。

**影山** 町の活性化・街なか誘導の施策・実績、情報発信は、蒙ベルカードは49枚のカードを持ち帰ってもらつた。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連携し進めた。

**企画政策課長** 店舗が参加し、1万8千枚のカードを持ち帰つてもらつた。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連携し進めた。

**影山** 町の活性化・街なか誘導の施策・実績、情報発信は、蒙ベルカードは49枚のカードを持ち帰つてもらつた。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連携し進めた。

**企画政策課長** 店舗が参加し、1万8千枚のカードを持ち帰つてもらつた。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連携し進めた。

**影山** 町の活性化・街なか誘導の施策・実績、情報発信は、蒙ベルカードは49枚のカードを持ち帰つてもらつた。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連

**副町長** 山和紙を活用した「おもてなし竹灯籠」の設置、「三春町推しパンフレット」の配布、まちなか周遊を目的とした「重ね捺しスタンプラリー」、「三春まちなか神社巡り」等の事業を考えている。

**影山** DCは期間が限定されているが、通年の観光誘致として三春の里やアウトドアヴィレッジとあわせ、ファームパークいわえの「田んぼアート」等の三春町全体のPR強化を図ってはどうか。

町全体を考え、観光客の方がおいでになる方法を、まちなか集客も含め関係機関と相談す



ふくしまDCのPRに  
ファームパークいわえの田んぼアートを

**ふくしまDC**の取組み※

かげやま  
影山

副町長 影山 催された。来年度の本番に向けて、具体的な取組はどのように考えているか。

姉妹都市である一関市の東山和紙を活用した「おもてなし竹灯籠」の設置、「三春町推しパ





 質問者の録画映像  
はこちらから

質問者の録画映像  
はこちらから

**A** 磐越東線活性化対策協議会 姉妹都市と連携したイベントなどを実施

**Q** 令和8年度の新たな取組みは

**副町長** 駅前では光のページェンを利用し、イメージアップの目立イルミネーションを設置しては、所に設置できるか今後検討する。

**三瓶** 三春町が考へているコンパク  
トシティのあり方をたずねた  
時に、三春町の居住空間は7つの地  
区に分けられ、多くの方々が居住して  
いる旧町内・岩江地区と、他の5地  
区に分けて検討する必要があると答  
弁があつた。これら5地区において、  
町の考へる「小さな拠点」の具体的  
イメージとは何か。

## 小さな拠点 づくり



 質問者の録画映像  
はこちらから

**A** 地域ごとに交流の場を設け、支え合いの仕組みづくりを進めるイメージ

**Q 小さな拠点の具体的なイメージは**

総務課長	令和7年度は中町公民館前、防災センター前、町民第2体育館前、三春駅の裏口、御木沢小学校入口、沢石会館前、春田大橋付近、三春の里前の交差点付近、斎藤地区集会所付近、岩江センター入口付近の合計10カ所。令和8年度は三春駅前、化粧坂交差点付近、担橋の手前付近、北保育所前、さくらの公園付近、岩江中学校前の付近の6ヶ所に設置予定である。
松村	個人住宅の防犯カメラの設置に対する助成は、ない。
総務課長	現段階では導入を考えていない。
松村	窓ガラスに貼る防犯フィルムなど、侵入抑止のための備品



## 役場脇さわやかトイレの防犯カメラ

 質問者の録画映像  
はこちらから

**A** 2カ年で通学路を中心  
二段屋(二十七)  
**Q** 通学路への防犯カメラ  
設置は

鈴木	10月から実証運行している定額乗合タクシー「こまシェア」の利用者数は。
鈴木	現在の登録者は37名で
鈴木	あり、目標の50名には達していない。
住民課長	何名登録すると定着したと
住民課長	考えるか。
鈴木	50名は民間事業者の採算性を考えた人数設定
鈴木	である。
住民課長	「こまシェア」の運行には国の補助金が入っているが、いつまで続くのか。
鈴木	次年度以降についても利用できるよう、国へ申請を行っていく。



定額乗合タクシー「こまシェア」



三春町営バス

**A** バスやタクシーなど  
様々な組み合わせで考  
える

Q 全体の考え方

※キエ一口…土の中にいる微生物で分解する生ごみ処理機

**北部の農業振興策**

**橋本 善一郎 議員**

三春の北部は山間丘陵地が多く、農業を行ううえで恵まれたところではない。しかし近年、ぶどうの栽培に力を入れている話を聞いた。産地形成のため、規模拡大を図るとともに、ぶどうを利用した加工施設も必要ではないか。北部の農業振興策をどう進めるのか。

自然条件が果樹栽培に適しているという専門家の意見もあることから、新たな振興作物として果樹栽培を広めたいと考えている。

**橋本 善一郎 議員**

6次産業化の考えはあるのか。

今後は果樹全般に焦点をあて、三春ならではの6次化商品の開発を支援していく考え方である。また、三春産農作物のブランド化を図ることで、他産地と差別化し、農業の経営安定化を目指したい。

**産業課長**

6次産業化の考えはあるのか。

今後は果樹全般に焦点をあて、三春ならではの6次化商品の開発を支援していく考え方である。また、三春産農作物のブランド化を図ることで、他産地と差別化し、農業の経営安定化を目指したい。

**橋本 善一郎 議員**

6次産業化の考えはあるのか。

今後は果樹全般に焦点をあて、三春ならではの6次化商品の開発を支援していく考え方である。また、三春産農作物のブランド化を図ることで、他産地と差別化し、農業の経営安定化を目指したい。

**A** 振興作物に果樹栽培を普及させたい

**Q** 北部の農業振興策をどう進めるのか

「うまいブドウ作っぺない！」



**ごみの減量**

第3次三春町地球温暖化対策実行計画のなかでの、具体的取り組みは。

山崎 様 第3次三春町地球温暖化対策実行計画のなかでの、具体的取り組みは。

住民課長 様 エコドライブ・公共交通機関の利用・太陽光発電の設置や次世代自動車の導入。ごみの減量化や資源化である。

山崎 様 昨年のリサイクル率が14・3%と低い理由は。

住民課長 様 田村西部環境センターの溶解施設が休止となり、灰のスラグ化及び廃プラスチックごみが熱原料として使えなくなつたためである。

山崎 様 可燃ごみの減量対策のため、コンポストなどに補助ができるないか。

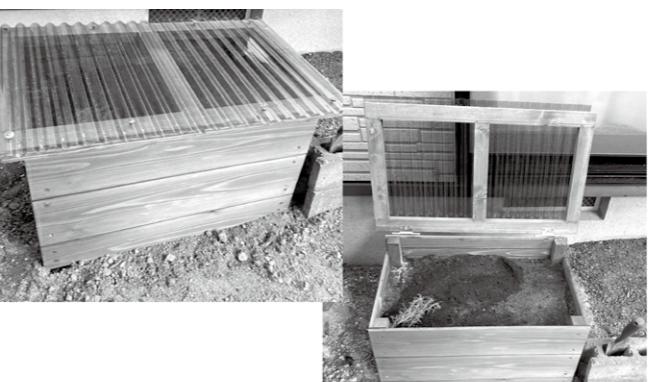
住民課長 様 1月～2月にキエ一口の体験会を実施する準備を進めている。まずは処理機等を使つていただき、有効な手段であれば補

助を検討していきたい。

**A** キエ一口※体験会を実施する  
**Q** 家庭ごみ減量対策は

やまざき 山崎 ふじ子 議員

質問者の録画映像  
はこちらから

生ごみが消えるキエ一口

## 傍聴者へ直撃インタビュー



はしもと よしみ  
橋本 好美さん  
(舞鶴大学)

12月2日の一般質問を傍聴された方へお話をうかがいました。

今回で2回目の傍聴となりましたが、質問に対する町長の答弁がとても分かりやすいと感じました。私はまちづくりの地域部会長として活動していますが、日頃は町の課題を具体的に知る機会が少ないのが現状です。今回の傍聴を通して、議員の皆さん方が町の状況をよく把握し、課題に向き合っていることが伝わり、安心感を持つことができました。機会があればぜひまた傍聴したいと思います。

## その後どうなった～一般質問で取り上げたテーマを追跡～

各地区のサロン活動充実のため、スクエアステップのリーダーを増やすよう令和5年3月に一般質問をしました。今年度養成講座が開催され、新たに18人誕生しました。町内全51人のリーダーのご活躍が期待されます。



令和7年9月一般質問の「ラーニング※」について、早速、各小学校の保護者に向けたアンケート調査の動きがありました。このような速やかな対応で町民の意見を反映して頂くことを望みます。

※ラーニング…愛知県発祥の「学習 (Learning)」と「休暇 (Vacation)」を組み合わせた造語で、保護者等の休暇に合わせて子どもが平日に校外で自主学習活動を行う制度

**小学校遊具の環境整備**

**大内 広信議員**

おおうち ひろのぶ

質問者の録画映像  
はこちらから

**A** 授業等の利用優先のため検討する考えはない

**Q** テーマパーク化構想は

福島県広野小学校の大型遊具

魅力的な学校遊具へ

毎月一回は点検を実施し、必要があればその都度修繕を行うこととしている。

**教育課長**

授業や学校行事等の利用が優先される現状の校庭を考えると、敷地面積や多様な利用の促進などの理由により困難であり、検討する考えはない。

**大内**

古くなつた学校遊具の実態について、どのようにとらえているか。

**教育課長**

学校や遊具設置業者と十分検討しているので、新たな協力は考えていない。

**大内**

学校の校庭や遊具は子どもたちが自由に体を動かし、創造力を育む大切な学びの場である。三春町の学校では遊具が古くなり、種類も少ない。子どもたちがワクワクする環境とは言いたい状況である。学校の遊具を、テーマパークの要素を取り入れたものに再整備することはできないか。

**教育課長**

授業や学校行事等の利用が優先される現状の校庭を考えると、敷地面積や多様な利用の促進などの理由により困難であり、検討する考えはない。

**大内**

子ども達が積極的に外遊びができる環境づくりについて、どう考えているのか。

**教育課長**

休み時間や週末に学校の運動場を開放し、子どもたちが自由に外遊びできる環境を整えているところである。

**大内**

子どもたちにとつて魅力的な遊具を導入するために、専門家や企業、地域と協力する考えはあるか。

**教育課長**

学校や遊具設置業者と十分検討しているので、新たな協力は考えていない。




## ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ 第47回議会クイズ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

中学生による英語弁論大会が行われましたが、  
三春町と姉妹都市になっているアメリカのライスレイク市は何州ですか?  
①ミシガン州 ②ウィスコンシン州 ③ミネソタ州

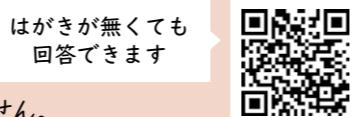
前回の答え  
①まほらホール

### ◆応募方法

クイズの答え、氏名、住所、年齢に加え「議会」や「みはる議会だより」に対するご意見、ご感想を併せて記入のうえ、下記のQRコードまたははがきで送信(送付)してください。また、メールでの応募も受け付けますので、必要事項を記入のうえ、下記のアドレスまで送信してください。正解者の中から、抽選で3名の方に1,000円分のプリペイドカードを差し上げます。当選は発送をもって代えさせていただきます。

◆送付先 〒963-7796 三春町字大町1-2 三春町議会事務局

メールアドレス gikai@town.miharu.lg.jp



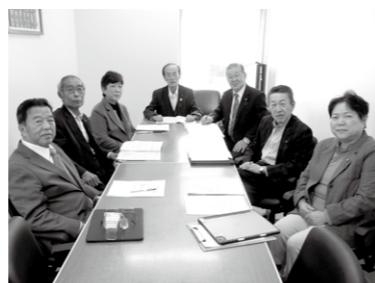
◆締切日 令和8年2月18日(水)(当日消印有効)

※応募いただいた方の個人情報は、このクイズ以外の目的には使用しません。

## 持続可能な議会へ

町議会では、人口減少の進行や無投票選挙が続いている状況から、町民を代表する議決機関として、将来を見据えた(持続可能な)議会のあり方を検討しています。現在、議会運営委員会において、議員定数や議員報酬、なり手不足、女性参画などに関する各議員の考えを整理するため、「議員定数・議会のあり方等の調査」や「議会・議員の活動量の調査」を実施しています。これらをふまえ、議会の役割やチェック機能を十分に果たすための適正規模や運営のあり方について協議を進めてまいります。

議会運営委員会 委員長 佐藤 弘  
同 副委員長 影山常光



議会運営委員会のメンバー

## 「みはる議会だより」モニター募集 -第5期モニターを募集します-

三春町議会では、より読みやすく、分かりやすい「みはる議会だより」の紙面づくりのため、モニター制度を導入しています。皆さんからいただいたご意見やご感想は、議会だよりの編集・発行に活かしています。このたび第5期モニターを募集します。皆さんの視点を議会だよりに活かしてみませんか。

●任 期 2年(令和8年4月1日から令和10年3月31日まで)  
●活動内容 年4回(5月・8月・11月・2月)発行する「みはる議会だより」をお読みいただき、紙面に対する意見や感想などを指定の様式に記入のうえ提出していただきます。また、任期中に一度議員との意見交換会にご参加いただきます。

●募集人数 7人以内 ※応募者多数の場合は、調整させていただきます。

●応募資格 ・町内に住所を有し、18歳以上の方(令和8年4月1日現在)  
・国または地方公共団体の常勤の公務員でない方

●謝 礼 1万円分のみはるプリペイドカード(5,000円/年)

●申込方法・期限

町HP掲載の申込書または申込フォームに必要事項を記入のうえ、  
2月27日(金)までにお申し込みください。

●申込・お問い合わせ先

三春町議会事務局

電話: 62-8124 FAX: 61-2310 E-mail: gikai@town.miharu.lg.jp



申込フォーム▶

## 一般質問 傍聴者アンケートまとめ

傍聴者:63名 回答者:54名(回答率85.7%)

### ①質問について

- ・内容が重なる部分は、もう少し簡潔にまとめてよいのではないかと思った。
- ・資料の読み上げではなく、自分の言葉で説明してもらえると分かりやすいと感じた。

… 質問の趣旨をより分かりやすく伝える工夫を求める声が見られました。

### ②再質問・議論の進め方について

- ・答弁をふまえた再質問があると、議論がさらに深まるのではないかと感じた。
- ・再質問が行われない場面では、少し物足りなさを感じた。

… 再質問を通じた、より丁寧な議論を期待する声がありました。

### ③医療・交通など生活に関わる課題について

- ・病院に関する今後の対応について、生活面での支援も考えてほしいと感じた。
- ・高齢者にとって利用しやすい交通手段なのか気になった。

… 医療や移動手段について、暮らしの視点からの意見が多く寄せられました。

## 議長杯パークゴルフ大会開催

第1回三春町議会議長杯パークゴルフ大会が11月9日に田村パークゴルフ場で開催されました。当日は29名が参加し、熱戦が繰り広げられました。開会式後に鈴木利一副議長による始打式を行い、参加者は元気にスタートしました。1日500円でできる、手軽で楽しいスポーツです。ぜひ皆さんも楽しんでみませんか!

連絡先: 渡辺敏 ☎ 090-4885-3096

### ●36ホールストロークプレーによる大会結果(敬称略)

	男 子	女 子
優 勝	佐藤 行雄	伊藤せい子
準優勝	佐藤 信一	橋本 英子
3位	菅井 純一	溝井ノリ子
4位	橋本 俊幸	宗像 明子
5位	渡辺 敏	務川喜美子



## 宮城県七ヶ浜町議会が視察研修で来町

12月9日、宮城県七ヶ浜町議会広報広聴常任委員会広聴分科会の委員および事務局の9名が、三春町を訪れました。三春町議会が取り組んでいる広聴活動について「各種団体や町民との意見交換会」をテーマに説明を行い、両町の現状や課題、問題点などについて学びあいました。予定時間を超えるほど白熱する意見交換となりました。



あいさつを行う七ヶ浜町議会鈴木篤広報広聴常任委員長

# シリーズ No.9 ~みはるのキラ人~

「みはるのキラ人」と題して、三春町で活躍されている方をシリーズで紹介していきます。

今回は令和7年11月29日に行われた第22回三春町中学生英語弁論大会で表彰されたお二人です。

外科医になつて  
いろんな人を助けたい



岩江中学校3年生  
鈴木 露句さん

特別支援学校の先生に  
なりたい



三春中学校3年生  
佐久間 心春さん

## ①大会の感想は

家族への感謝と、自分の努力の結果です。自分をほめてあげたのです。

## ②苦労したところは

うまく発音ができなかつたり、もつと感情を込めたかつたけど、なかなかうまくいかなかつたです。

## ③将来の夢は

外科医になりたいです。小さい時、外科医に助けられたので人々を助けたいです。

④三春町に望むことは  
このような交流会を増やしてほしいです。

## ①大会の感想は

自分でしゃべってるような感じで、すらすら言えて良かつたです。

## ②苦労したところは

イントネーションと発音が去年と一昨年は悪かつたけど、今年は改善できました。

## ③将来の夢は

特別支援学校の先生になることです。

④三春町に望むことは  
滝桜をもっともっと盛り上げてもらいたいです。



ワークショップによる交流



役場庁舎「桜ホール」を案内

今月の題字はあおいちゃん7歳の字です。元気でのびのびとした字から、明るい表紙になりました。写真は、田村青年会議所(写真左)と七ヶ浜町議会(写真右)の皆さんです。三春町議会に研修など来てくださる団体が増えてきました。交流を重ねるなかでお互いに新たな発見があり、研修に行くことでも「受け入れること」もどちらも大切な学びだと感じました。

## 今月の表紙

広報広聴常任委員会

委員長／山崎ふじ子 副委員長／篠崎聰  
委員／影山孝男 三瓶一壽 大内広信 遠藤亮子 鈴木利一

